



## ブラックホールとは何なの

### 光も出ることができない

ブラックホールとは、「光さえも、出ていくことができないほどの、強い重力（物を中心に引きつける力）がはたらいっている場所」、という意味で考え出された理論です。

現在では、ほぼブラックホールであると考えられる場所（天体）が、いくつも観測されていて、ブラックホールが、現実にあることがわかりました。

ブラックホールは、星の一種なのですが、光をまったく出していない（出られない）ので、とても見つけにくい星です。

ブラックホールからは、光が出ていない（出られない）ために、直接、観測することはできません。しかし、ブラックホールに、近くの物質が、吸いこまれるときに放たれる、X線などのエネルギーを観測することによって、ブラックホールのことが、だんだんわかってきました。

### 重い星がつぶれて生まれる

ブラックホールは、太陽の30倍近くも重い星が、その一生の最後に星自体がつぶれ、スプーン1ぱいでも、10億トン以上の重さがある天体です。そのため、重力がたいへん強く、光までも吸いこんでしまうのです。

今、観測されている白鳥座X-1は、ブラックホールだろうといわれています。

（監修・国司 真）

